

『臆病な都市』

砂川 文次／著 講談社 (分類:F ス)

鳥の不審死から始まった新型感染症の噂。首都庁に勤めるKは、その渦中に巻き込まれ…。新型感染症をめぐる組織の不条理、怖れと善意の暴走。新型コロナ感染拡大の前に書かれた、新鋭による問題作。『群像』掲載を単行本化。



『土佐くろしお鉄道殺人事件』

西村 京太郎／著 新潮社 (分類:F ニ)

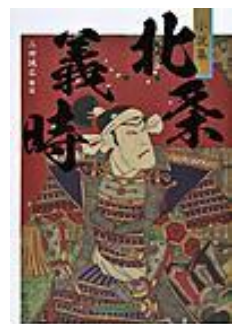
高知から宿毛へ走る特急「あしずり」で起きた新任大臣毒殺事件を発端に、各地で不気味な事件が続発。世直しを訴える奇妙な手紙との関係は? 姿なき犯人に、十津川警部はいかに立ち向かうのか。『小説新潮』連載を加筆修正。



『北条義時』

海音寺 潮五郎／著 作品社 (分類:F ホ)

謎に包まれた鎌倉幕府二代執権、北条義時。たった一枚の肖像画さえ存在しない「顔のない権力者」の姿と彼の生きた動乱の時代を、海音寺潮五郎、永井路子ら豪華作家陣が描いた歴史小説アンソロジー。三田誠広の解説も収録。



『それを読むたび思い出す』

三宅 香帆／著 青土社 (分類:K914 ミ)

幼かったときの言葉の記憶、地元・高知との距離感、京都で過ごした青春時代、東京で働きながら文章を書く日々、書くことと誰かの孤独に寄り添うこと…。本とともに生きる気鋭の書評家による、自伝的エッセイ集。



『<叱る依存>がとまらない』

村中 直人／著 紀伊國屋書店 (分類:141 ム)

「叱る」には依存性があり、エスカレートしていく。その理由は脳の「報酬系回路」にある。「叱る」という行為の本質を科学の知見や社会で起きている出来事をもとに見つめ直し、<叱る依存>を回避するためのヒントを伝授する。



『鎌倉殿の13人』

NHK 出版 (分類:289.1 ホ)

NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をより理解するための歴史ガイド。鎌倉幕府の執権として武家政権を確立した北条義時の生涯を、最新研究をもとに徹底解説する。人物相関図、坂井孝一と伊東潤の対談も収録。



『いつか家族でやりたい99の楽しいことリスト』

むびー／著 CCCメディアハウス (分類:599 ム)

おうちホテル、まっ暗お風呂、うどんを打つ、巨大ダンボールあそび、夜のハイキング…。贅沢しなくても、ちょっとした工夫で何気ない1日が忘れられないくらい楽しくなる99のアイデアをイラストで紹介します。



『美術の物語』

エルンスト・H. ゴンブリッチ／著 河出書房新社 (分類:702 ゴ)

原始の洞窟壁画から現代の実験的な芸術にいたる、美術の全体を論じた入門書。色々な名前や時代や様式がわかりやすく整理できるように工夫し、物語としての美術史を目に見えるように描き出す。



新しく入った 児童図書・YA
(2/20) 予約受付いたします！

『牧野富太郎』

横山 充男／著 くもん出版 (分類:289マ)

研究に打ち込むとてつもない情熱。「もっと知りたい」という探求心。わかるまで調べるあきらめない気持ち。西欧の百年遅れといわれた日本の植物学を推し進める行動力…。植物の神様といわれた牧野富太郎の人物伝。

